



きままに川柳

お題「うちわ団扇」

お便り日和

テーマ「もう一度食べたい物」

渥美半島の野菜

ストレッツチマン(泉町)

以前、小旅行がしたくなり、連れだつて渥美半島の先のほうまで車を走らせました。進んでいくと、ビニールハウスが立ち並び、野菜や果物をたくさん作っているのかな、と感心していました。

その日、とある旅館で温泉と料理をいただいたのですが、野菜料理の美味しさが忘れられませんでした。普段は肉好きなのですが、丁寧で、野菜の甘味と滋味たっぷり、自然と笑顔になるあの味：地のももの良さを体感。もう一度、味わいたいものです。

なが焼きに食欲注ぐうちわかな
うちわ背に浴衣姿の下駄が鳴る
団扇ふり子の寝顔見る暑い夜
うちわ背に浴衣の袖で風遊ぶ
鰻うなぎだな団扇の匂いだけ貰もう
夜空向け団扇あおげば流れ星
猛暑日の水絵も涼し水団扇
夏の夜やうちわで招く土岐まつり

牛乳

星くず(泉町)

今でもある音読の宿題。当時、社会の教科書も予習として読むように。その日はたまたま母が旅行中で、父に聞いてもらった。

「愛知用水」と「十和田のヒメマス」の由来と現在の様子が書かれたものだった。一回読んだら、父が「もう一回聞きたい」と結局3回読んだら「よく分かった、何度も読んでくれたから、牛乳全部飲んでいいよ」。子どもが好きな時に好きなだけ飲んだり食べたりすることが当たり前の現代。その日の高価だった牛乳の味は、忘れられません、父の思い出とともに…。

ジョージ
丹羽つね代
はな
小阪千枝子
マスお
月丘夢子
かずえ
足立昌代

自然薯のとろろご飯

肥田町K

今は亡き義母が作る自然薯のとろろご飯は有名日本料理店で味わえない一品でした。

山で掘ってきた自然薯を傷付けないように丁寧に洗い、大きなすり鉢のくし目ですりおろし、すりこ木で優しくすりつぶし、重く粘っこくなつた後は水を少しずつ入れながらのぼし、杓しゃく文字で時間をかけてふわつとさせ、あらかじめ作って冷ましておいたかつお節の澄まし汁を入れながらさらにふわつとさせ、2時間かけて出来上がったとろろご飯は本当に美味しかったです。

香川県のうどん

プクプクさん(土岐津町)

今から15年程前、友達2人と四国一周の旅へ出掛けました。坂本竜馬像や道後温泉などを訪れ、最後は「四国といえばうどん」と、ガイドブックの片隅に載っていたうどん専門店へ。「黄金うどん180円」を注文。これが今まで食べたどんなうどんよりもおいしく、すぐに2杯目を追加注文。とても幸せな気持ちになったことを覚えています。

四国へはなかなか行けませんが、次行く機会があれば、「今度は3杯、4杯食べてやる」といつも思っています。

9月1日号の投稿募集

お便りテーマは「泣いちゃった」です。うれしい涙、悲しい涙、感動した涙。あなたの涙の理由を200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「車」です。(1人1句)

締め切りは8月20日(水)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎1111(内線185) / FAX 7763

✉koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。